

革新的 GX 技術創出事業
令和 7 年度ステージゲート評価結果

1. 領域

「バイオものづくり」領域

2. 研究開発課題名

次世代バイオものづくりを駆動する高度オミクス計測・解析基盤の開発

3. 研究開発代表者名(機関名および役職は評価時点)

馬場 健史 (九州大学生体防御医学研究所 教授)

4. 評価結果

ステージゲート通過(条件付き)

総評

- (1) 本課題は、大腸菌をはじめとする微生物のマルチオミクスデータを取得し、遺伝子型に基づいて微生物表現型を予測するモデルを構築するとともに、その成果を実用微生物における有用物質生産系へと展開することを目的とするものである。各要素技術において着実な進捗が認められ、得られた成果はいずれも高く評価できる。
- (2) 今後にあたっては、開発中の各種解析技術について、他チームでの実際の活用がなされるよう取り組むこと。
- (3) シミュレーション解析に関する研究体制を強化すること。マルチオミクスに関する様々な計測の研究開発項目が実施されているが、それぞれの連結について加速すること。

以上